

頂上目指せ！あと一步

宇部町民登山

宇部町民登山（町体育協会など主催）が4月28日、行なわれました。地元の小学生や町民など約40人が参加。町を望むようにそびえる小倉山（標高514m）の



頂上を目指しました。約1時間で頂上まで登ることができ、頂上からは太平洋を望むことができます。参加者たちは抜けるような青空の下、山頂を目指しました。やっとの思いで頂上にたどり着いた参加者たちは、海や学校を見つけては大喜び。「きつい坂が楽しかった」「また登りたい」と笑顔で汗をぬぐっていました。

新鮮な魚介を求めて

二子朝市を開催

二子朝市（市漁協二子漁業生産部主催）が5月3日～5日、同二子出張所前で開かれました。この催しは、おとしから開催。新鮮な海産物が安価で手に入るため市内外から多くの人気を集めています。3日は、今年初めてとあって開催前に約100人が行列を作るほどの人気ぶり。ビン詰めウニやホヤなどが次から次へと飛ぶように売れていきました。夫婦で訪れた上田誠さん（小久慈町）は「埼玉から息子が帰省するので食べさせたい」とたくさんの海産物を買っていました。



自転車もマナー守って

春の全国交通安全運動街頭啓発

5月11日～20日まで春の全国交通安全運動が行なわれることを受け11日、市内14カ所で街頭啓発が行われました。久慈駅前での啓発には山内隆文市長や及川優晴久慈警察署長など約20人が参加しました。山内市長が「車や自転車、歩行者の交通マナーの向上に向けた対策が必要。協力して事故の無いまちを作っていきたい」とあいさつ。通学途中の生徒や会社員など一人ひとりに啓発チラシやティッシュなどを配り、自転車の安全利用や交通事故防止などを呼び掛けました。



- ▶ サクラが咲き、こいのぼりが舞う中、山根神楽が奉納されました
- ▼ 水車が一番の人気。たくさんの方が足を止めて、その動きを見守っていました



使う道みんなできれいに

久慈港運でボランティア清掃



ごみを拾い集める社員たち

久慈港運（兼田忠康社長）では4月28日、社員約30人が参加して、社で使用する市道の清掃活動を行いました。清掃したのは、県道7号の白山浄水場付近から山中に入る市道約4kmの部分。早朝から昼に掛けて行なわれ、空き缶などの生活ごみ約30袋のほかタイヤや冷蔵庫、テレビなどのごみを拾い集めました。回収したごみは、リサイクル処理されました。

兼田社長は「社員一丸となってボランティア清掃を行うことで社員の環境への意識も上がる」と循環型社会への意識向上に努めます。

清掃活動は今後、年1回程度行う予定。「市全体に取り組みが広がってほしい」と期待を込めていました。

よ〜ぐ久慈にけさった

さんりくしおさい八戸号で観光ガイド

北リアスゆとり旅観光ガイドの会チームけさった（宇部松蔵会長）では、北限の海女にふんして、三陸鉄道車内で観光ボランティアガイドを行いました。3月～5月まで期間限定でJR八戸線と三陸鉄道が相互乗り入れする「さんりくしおさい号」の車内で行いました。

ガイドは三陸鉄道の久慈駅～小本駅（岩泉町）まで。北限の海女や久慈地方の特産品の説明などを行いました。宇部会長は「お客様と会話して、久慈の良いところをPRしたい」と強調します。初めて久慈を訪れた里館サトエさん（大槌町）は「雄大な海に感動。観光ガイドの説明も楽しくていい」と楽しんでいました。



お座敷列車で海女にふんし、説明しました

今なお残る田舎を体験

第36回水車まつり

第36回水車まつり（端神部落会ほか主催）が5月6日、山根町端神の桂の水車広場で開催されました。

まつりでは、豆腐田楽や軍配モチ、イワナやゆかべなどの郷土食を食べられるほか、昔ながらの石臼引き体験、山根神楽の奉納など楽しみどころが盛りだくさんです。

ゴールデンウィークの最終日となったこの日は、好天に恵まれたこともあり県内外からたくさんの観光客が訪れ、昔懐かしい田舎の原風景を楽しんでいました。

家族と訪れた小室奏絵さん（小久慈小1年）は「川で遊んだりできて楽しいし、オモチもおいしい」と笑顔を上げていました。

桂の水車広場では、郷土料理や山根の風土を楽しむ「くるま市」を4月～12月の第1日曜日に開催。5月と11月には、水車まつりが開催されます。

のびのび泳げ！こいのぼり

こいのぼりフェスティバル

「こいのぼりフェスティバル」（市社会福祉協議会主催）が4月26日、福祉の村で開催されました。畑田、川貫、門前、こだま、大川目、久慈湊、いなり、小袖、ひばり、平山、山口保育園の園児たち約250人と特別養護老人ホーム「ぎんたらず久慈」や介護老人保健施設「リハビリタウンくじ」の入所者約30人が参加しました。



フェスティバルに用意されたこいのぼりは約100匹。参加者たちは、4本に分けられたロープをしっかりとにぎり、「よいしょっよいしょっ」と力を合わせて、こいのぼりを大空へと持ち上げました。

はじめは曇りがちだった空も日差しが差しはじめ、こいのぼりたちは気持ち良さそうに風に乗って泳いでいました。

ばんざ〜い。こいのぼり上がったよ